

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		防火水槽新設事業						予算事業名		防火水槽新設事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
				09	01	03	2002	経常経費	消防法				
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業			
		2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)											
		④消防・救急体制の強化						担当課係等		防災安全課			
		3消防水利の設置								消防防災係			
事業期間		継続 (平成27年度～令和 4年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
市内全域における消火作業に対応するため、耐震性貯水槽を新設し、充足率の向上と適切な配置に努力する。							火災時に消火栓を使用すると濁りが発生し、二次災害となる恐れがあるため、消防水利としての貯水槽の設置を進めている。						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】						
消防水利が不十分な地区への耐震性貯水槽設置。							結城市民。						
							【事業をとりまく環境の変化】						
							地域住民からの設置要望に対応していく。						
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】					
地域防災施設 設計・施設工事				耐震性貯水槽 飲料水兼用(40t)				耐震性貯水槽(40t)(要望等への対応) 地域防災施設工事					
■事業費													
				H30年度		R01年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	4,057	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	3,600	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	1,027	0						
歳入計(千円)				8,684		0							
歳 出 内 訳	節(番号+名称)				金額(千円)		金額(千円)						
	15 工事請負費				8,684		0						
歳出計(千円)(A)				8,684		0							
伸び率(%)						皆減							
備考	総合計画 84 ページ 予算書 ページ												

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	耐震性貯水槽（40t級）の設置	基	目標	2.00	2.00	2.00
	耐震性貯水槽（40t級）の設置		実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	公設基数	基	目標	2.00	2.00	2.00
	耐震性貯水槽の新設		実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	災害時における消防水利確保のためには、必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	
	手段の妥当性	A 妥当である	
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	貯水槽設置に伴う工事費削減のため、市有地や公共工事に合わせて工事を実施することにより、経費の削減を図る。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	近年は、区画整理地内の公園予定地に設置しているため、北部地域に設置が多くみられるが、要望とうにも対応していくため、偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	毎年1基ではあるが、設置を行うようにしている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	毎年1基ではあるが、設置を行うようにしている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
今後、各地域からの要望に対応していくためには、その用地の確保等に関して、問題となってくる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
要望をいただいた時点で、用地等についても地元と相談をし、確保に当たっていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 区画整理地内の公園用地の確保と、他地区の要望等柔軟に対応して行く。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	